



天ダムNEWS

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

[News Release](#)

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/>

‘11/05/13

5月10日～12日前線に伴う出水の対応について

5月10日～12日にかけての前線に伴う出水の対応を別紙のとおりとりまとめをいたしましたので報告いたします。

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草 6884-19

Tel 0265-88-3729 Fax 0265-88-3872

天竜川ダム統合管理事務所美和ダム管理支所

〒396-0401 長野県伊那市長谷非持 345

Tel 0265-98-2111 Fax 0265-98-2939

問い合わせ先

本記事に関する問い合わせ先

管理課 矢澤・渡邊

TEL:0265-88-3743

○資料 別紙のとおり

○同時配布 飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ
伊那市記者クラブ

天竜川・平成23年5月10日～12日洪水の小渋ダムの対応について (速報 H23.5.13 13時)

国土交通省中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所

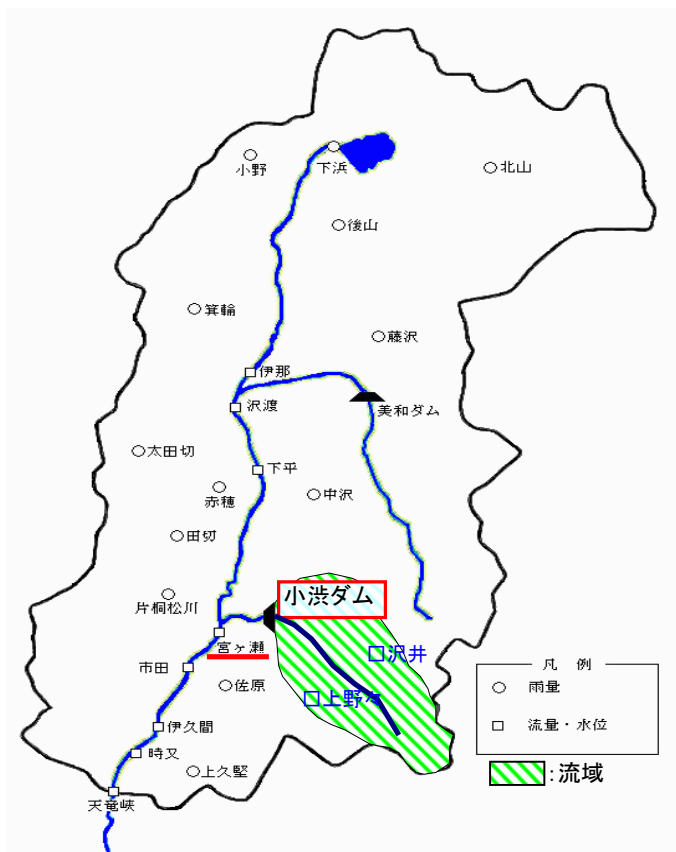
●平成23年5月10日～12日洪水の概要

5月10日より前線に伴う降雨が始まり、天竜川の東側流域において総雨量（各観測所）が上野々で179mm、沢井で165mmを観測するなど、わずか2日程で、年間の1/9～1/10程度の降雨がありました。

この洪水において、小渋ダムでは6時間にわたって防災操作を実施し、最大流入量約273m³/sに対しダム流下量を約8m³/sに低下させ、宮ヶ瀬地点において水位の上昇を約30cm抑制しました。

※本資料に表示されているデータは速報値です。

●天竜川上流部の雨量・水位観測所

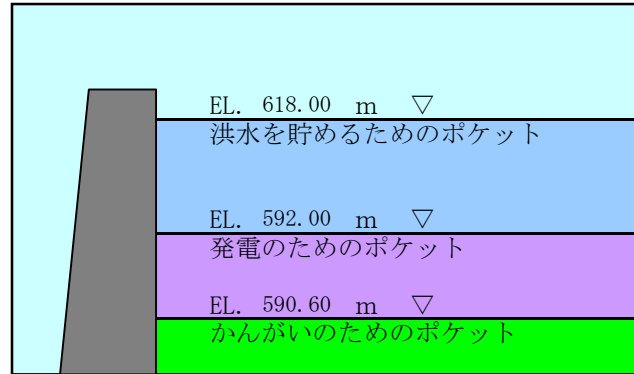


●【解説】平成23年5月10日～12日の小渋ダムの対応状況

ダムの役割と運用

(各数字は小渋ダムの場合)

今の時期、小渋ダムは「3つ」の役割を持っています。	
洪水がきたらここまで貯められる	
洪水時最高水位 (EL. m)	618.00
ここから下の水は発電のため	
梅雨期の洪水貯留準備水位 (EL. m)	592.00
ここから下の水は田畑のため	
かんがい確保水位 (EL. m)	590.60



- 1つ目の役割・・・台風などの大雨による洪水から下流を守ります。(※防災操作)
- 2つ目の役割・・・美和ダム・小渋ダムで約10万世帯分に相当する電力を供給します。
- 3つ目の役割・・・美和ダム・小渋ダムで約3,000haの田畑に水を供給します。

※防災操作とは・・・ダムへ流入する水の量（流入量）が洪水量に達したら（美和ダムでは300m³/s、小渋ダムでは200m³/s）、「洪水を貯めるポケット」を使って洪水を貯留することでダム流下量を減らし下流河川の水位上昇を抑制します。

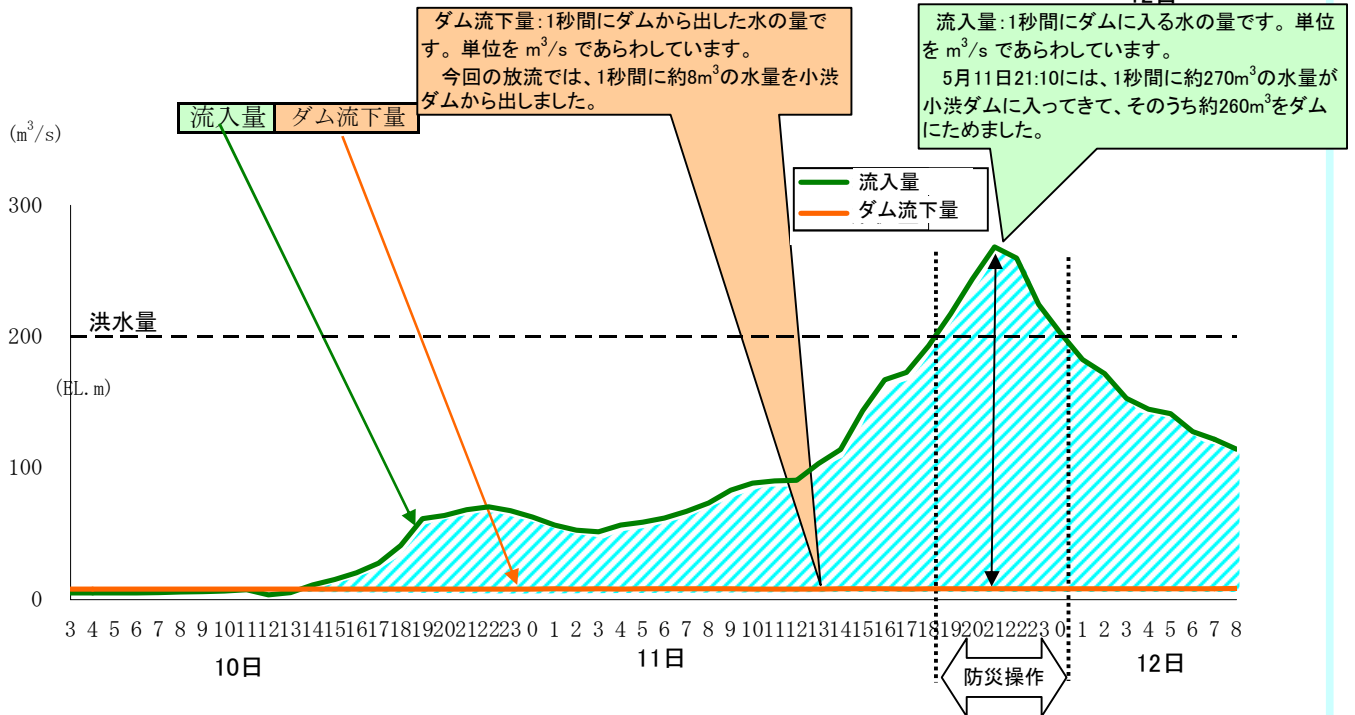
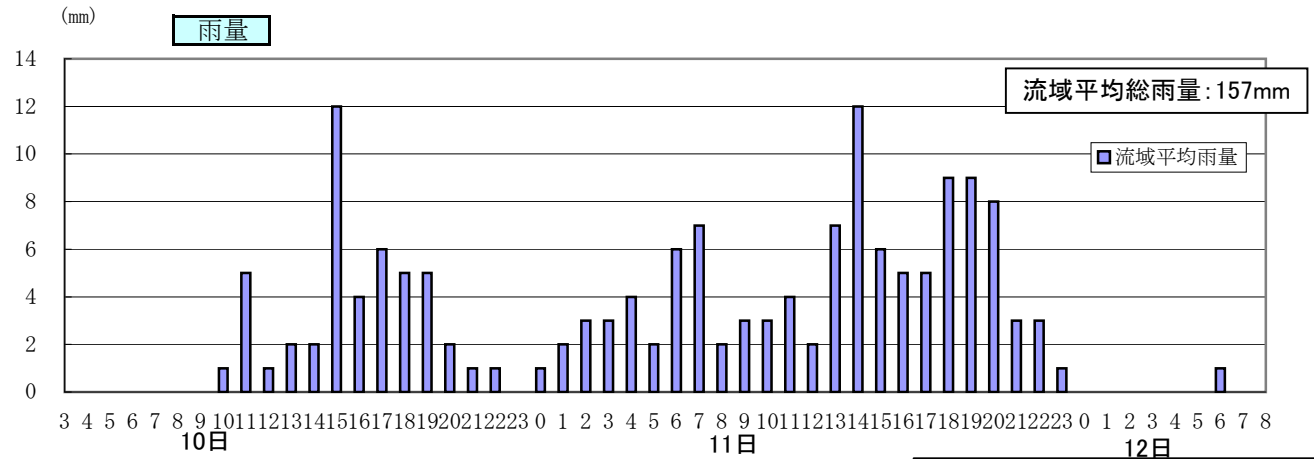
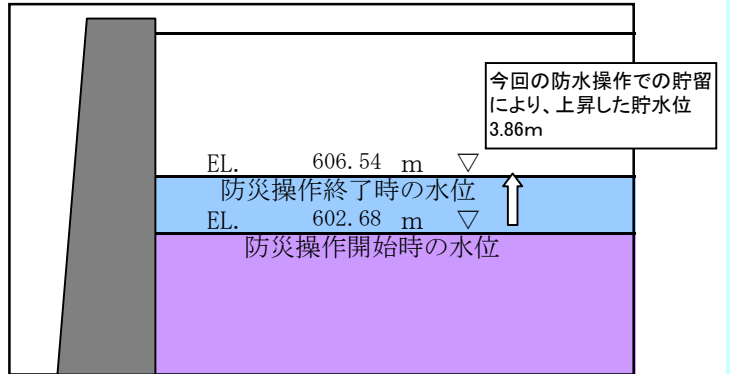
今回の小渋ダムの操作

- ・5月10日早朝からの降雨が始まり、流入量が急激に増大し洪水量に達する恐れがあったため、洪水警戒体制に入り、洪水量を超えた11日18時10分より防災操作を開始しました。
- ・10日21時10分に流入量がピークを迎え、その後12日0時20分に洪水量を下回ったため貯留を終了しました。
- ・今回の洪水では、ダムへ流入する水のほとんどを貯留しました。

●平成23年5月10日～12日洪水の操作状況

小渋ダム

最大流入量 (m^3/s)	273.46
最大ダム流下量 (m^3/s)	8.37
防災操作終了 時の水位 (EL. m)	606.54
防災操作開始 時の水位 (EL. m)	602.68



小渋ダム

H23.05 前線洪水 ダム水位低減効果量(宮ヶ瀬地点)

今回水位低下効果量

効果量 (cm)
約30

